プレスリリース
2018年7月19日

配布先: 永田クラブ、経済研究会、総務省記者クラブ、
テレコム記者会、文部科学記者会、科学記者会、
名古屋教育記者会、埼玉県政記者クラブ
気象庁記者クラブ、筑波研究学園都市記者会

国立研究開発法人情報通信研究機構
公立大学法人首都大学東京
東芝インフラシステムズ株式会社
国立大学法人名古屋大学
国立研究開発法人防災科学技術研究所
一般財団法人日本気象協会
国立大学法人埼玉大学
内閣府

世界初の実用型「マルチパラメータ・フェーズドアレイ気象レーダ（MP-PAWR）」を用いた実証実験の開始および見学会の開催について

内閣府の SIP[*1]「レジリエントな防災・減災機能の強化」の施策として、国立研究開発法人情報通信研究機構（NICT、理事長: 徳田 英幸）をはじめとする研究グループ＊は、昨年度開発した**世界初の実用型「マルチパラメータ・フェーズドアレイ気象レーダ（MP-PAWR）[*2]」を用いた**実証実験のための観測を 7 月初めから開始しました。

MP-PAWR は、30 秒から 1 分で雨雲の高速三次元観測が可能なフェーズドアレイ気象レーダ（PAWR）と雨量を高精度で計測できるマルチパラメータ（二重偏波）レーダの機能をあわせもった気象レーダで、急激に発達する積乱雲による豪雨から国民の安全を守るとともに、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会など特に夏季に開催される競技の運営にも役立つ技術です。研究グループは、MP-PAWR を活用して最大 30 分先のゲリラ豪雨を予測し、市民や自治体等へ予測情報を伝達する実証実験を開始します。

なお、国立研究開発法人防災科学技術研究所と一般財団法人日本気象協会はゲリラ豪雨の直前予測情報の実証実験を行うため、2000 人のモニターを募集しています（別紙 2 参照）。

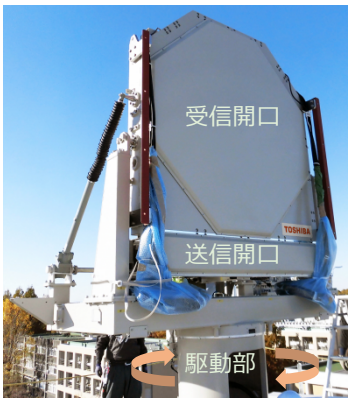
また、豪雨直前予測情報の実証実験の開始日となる 7 月 23 日（月）11 時より MP-PAWR の「見学会」を埼玉大学にて開催いたします（別紙 1 参照）。見学会では、最新の降雨観測に基づく雨雲の三次元表示や実証実験の概要を紹介します。メディアの皆様の多数のご参加をお待ちしております。

＊研究グループ
国立研究開発法人情報通信研究機構（理事長: 徳田 英幸）
公立大学法人首都大学東京（理事長: 島田 晴雄）
東芝インフラシステムズ株式会社（代表取締役社長: 秋葉 慎一郎）
国立大学法人名古屋大学（総長: 松尾 清一）
国立研究開発法人防災科学技術研究所（理事長: 林 春男）
一般財団法人日本気象協会（会長: 石川 裕己）
国立大学法人埼玉大学（学長: 山口 宏樹）

＜用語解説＞

***1 戦略的イノベーション創造プログラム（SIP: Cross-ministerial Strategic Innovation Promotion Program）**
総合科学技術・イノベーション会議が自らの司令塔機能を発揮して、府省の枠や旧来の分野の枠を超えたマネジメントに主導的な役割を果たすことを通じて、科学技術イノベーションを実現するために 2014 年に創設したプログラムです。（詳細は、http://www8.cao.go.jp/cstp/gaiyo/sip/）

***2 マルチパラメータ・フェーズドアレイ気象レーダ（MP-PAWR）**
水平偏波と垂直偏波を同時に送受信する二重偏波機能を有し、10 方向以上を同時に観測可能な DBF（デジタル・ビーム・フォーミング）のリアルタイム処理機能を搭載した気象観測専用のフェーズドアレイレーダとなります。
フェーズドアレイ気象レーダにマルチパラメータ（二重偏波）機能を追加することにより、高速 3 次元観測性能を保ちつつ、雨量の計測精度を格段に向上させたレーダです。導波管スロットアンテナを 1 次元配列した従来のフェーズドアレイ気象レーダとは異なり、二重偏波化したパッチアンテナを 2 次元配列し、仰角方向の電子走査と方位方向の機械回転を組み合わせることで、マルチパラメータ（二重偏波）化による高精度観測と高速 3 次元観測を実現しました。



＜ 研究開発全般に関する問い合わせ先 ＞
国立研究開発法人情報通信研究機構
電磁波研究所
リモートセンシング研究室
中川 勝広
Tel: 042-327- 5378、Fax: 042-327-5521
E-mail: GOUU-NICT@ml.nict.go.jp

＜ レーダ開発に関する問い合わせ先 ＞
東芝インフラシステムズ株式会社
電波システム事業部電波応用営業部
Tel: 044-331-1770、Fax: 044-548-9557

＜ 実証実験に関する問い合わせ先 ＞
国立研究開発法人防災科学技術研究所
レジリエント防災・減災研究推進センター
岩波 越
Tel: 029-863-7767、Fax: 029-863-7760
E-mail: iwanami@bosai.go.jp

＜ SIP プログラムに関する問い合わせ先 ＞
内閣府 政策統括官（科学技術・イノベーション担当）付 参事官（安全社会グループ）付
岩田 恵一
小林 誠
Tel: 03-6257-1336

＜ 広報 ＞
国立研究開発法人情報通信研究機構
広報部 報道室
Tel: 042-327-6923、Fax: 042-327-7587
E-mail: publicity@nict.go.jp

公立大学法人 首都大学東京
管理部 企画広報課
Tel: 042-677-1806、Fax: 042-677-1079
E-mail: info@jmj.tmu.ac.jp

東芝インフラシステムズ株式会社 広報担当
Tel: 044-331-1359、Fax: 044-548-9542
E-mail: tiss-pr@ml.toshiba.co.jp

国立大学法人名古屋大学
総務部 総務課 広報室
Tel: 052-789-2699、Fax: 052-789-2019
E-mail: kouho@adm.nagoya-u.ac.jp

国立研究開発法人防災科学技術研究所
企画部 広報課
Tel: 029-863-7784、Fax: 029-863-7699
E-mail: toiawase@bosai.go.jp

国立大学法人埼玉大学 広報渉外室
Tel: 048-858-3932、Fax: 048-858-9057
E-mail: koho@gr.saitama-u.ac.jp

内閣府政策統括官（科学技術・イノベーション担当）付総括・広報担当
Tel: 03-6257-1327、Fax: 03-3581-8653
E-mail: marin.chiba.c8y@cao.go.jp

一般財団法人 日本気象協会広報室
Tel:03-5958-8147、Fax:03-5958-8114
E-mail: jwapr@jwa.or.jp

別紙 1

＜見学会の開催について＞

本研究において開発し、埼玉大学に設置されている「マルチパラメータ・フェーズドアレイ気象レーダ」の見学会を下記のとおり開催いたします。なお、お手数ですが、ご参加いただける場合は、7 月 20 日（金）17:00 までにメールにて下記の事項を記載のうえ、お申込みいただきますようお願いいたします。なお、当日、現地受付も可能です。

〔記載事項〕

・参加される方全員の氏名
・所属機関
・当日の連絡先
・カメラ等の有無
・自動車での来所の有無

記

日時: 2018 年 7 月 23 日（月）11 時 00 分～12 時 00 分

場所: 埼玉大学 工学部建設工学科 3 号館 3 階セミナー室

〒338-8570 埼玉県さいたま市桜区下大久保 255

※フェーズドアレイ気象レーダの簡単な紹介の後，設置場所の工学部建設工学科 3 号館屋上に移動予定

以上

【メール送付先】
国立大学法人埼玉大学　広報渉外室
二川目（ふたかわめ）・佐々木
Tel: 048-858-3932　Fax: 048-858-9057
E-mail: koho@gr.saitama-u.ac.jp

別紙２

「豪雨直前予測情報」実証実験のため

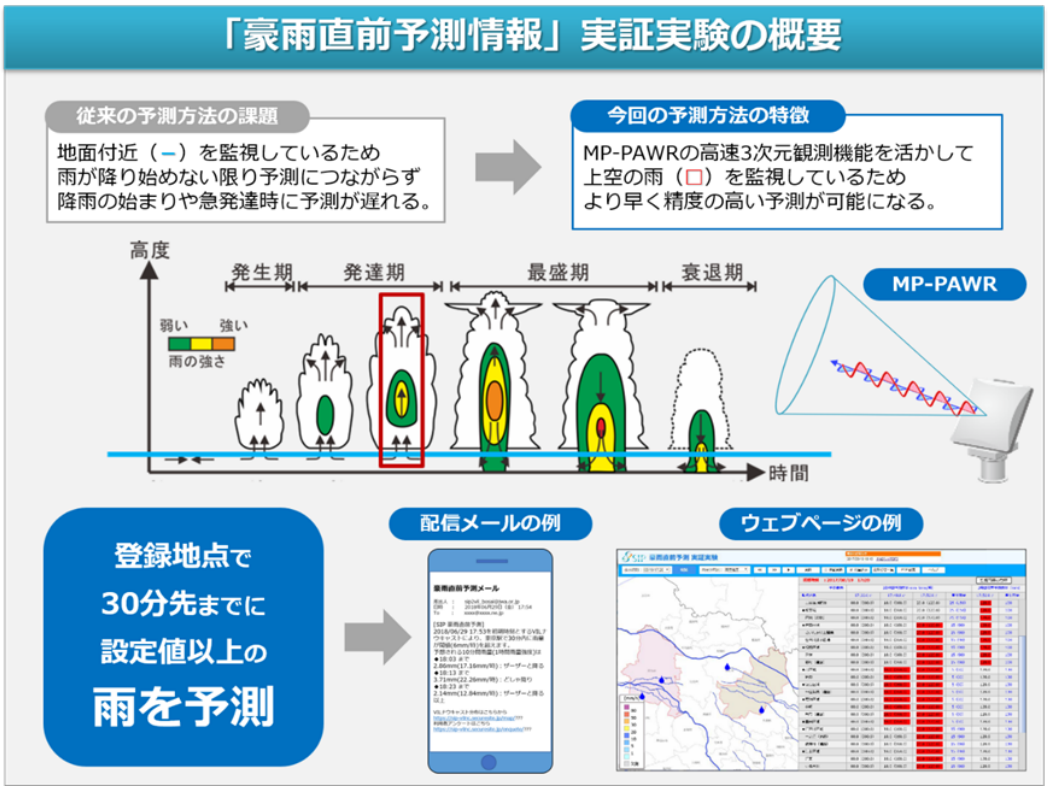
モニター2000 人を募集

～激しい雨が降る 10～30 分前にメールで情報配信～

１．概要

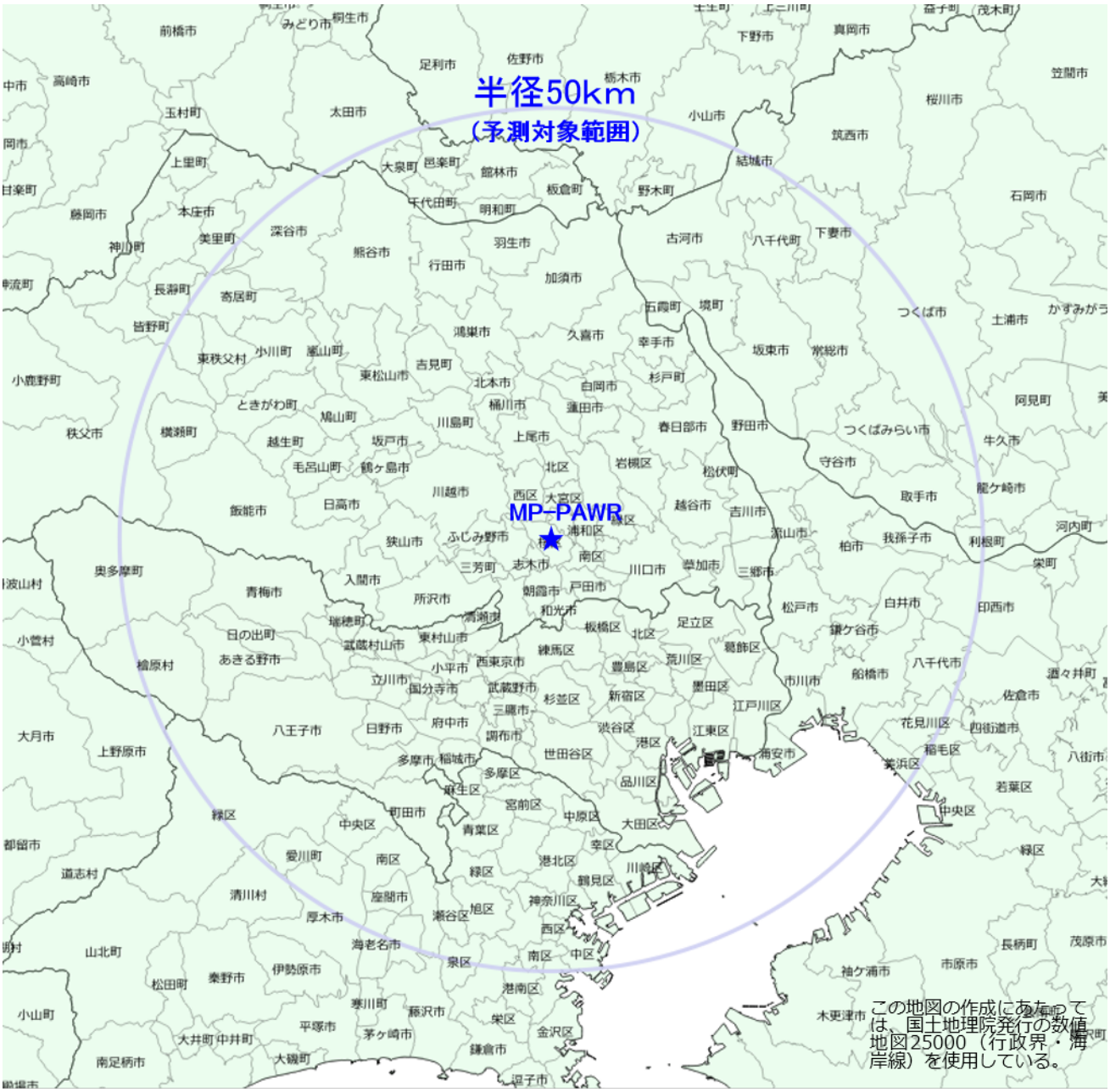
国立研究開発法人防災科学技術研究所(理事長：林 春男) と一般財団法人日本気象協会（会長：石川 裕己）は、共同で激しい雨が降る最大 30 分前にＥメールで情報を配信する「豪雨直前予測情報」の有効性を検討するための実証実験を、平成 30 年 7 月 23 日から 10 月 31 日まで実施します。

「豪雨直前予測情報」は、内閣府の総合科学技術・イノベーション会議が推進する戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）の課題「レジリエントな防災・減災機能の強化」の一環として開発され、30 秒で雨雲の 3 次元観測が可能なマルチパラメータ・フェーズドアレイ気象レーダ（MP-PAWR）を利用した雨の予測情報です。1 分更新の予測が可能なため、急な大雨に対して、より早く精度の高い予測情報を配信できます。



２．予測の対象範囲

予測の対象範囲は、マルチパラメータ・フェーズドアレイ気象レーダ（MP-PAWR）設置箇所の埼玉大学から半径約 50km 円内です（下図）。



３．モニター募集

（１）応募条件

モニター対象者は、上図の範囲内の「豪雨直前予測情報」の活用を希望し、Ｅメールでその情報を受信できる方とさせていただきます。

なお、登録頂いたモニターの方には、メール受信後に利用者アンケートにご協力いただきます。

（２）応募期間及び人数

応募期間：平成 30 年 7 月 23 日（月）13 時から

人数：先着２０００名

（３）利用登録

１．利用登録 URL

https://sip-vilnc.securesite.jp/user/

２．利用規約（同意確認）

ご利用の登録は必ず規約をお読みになり、内容確認の上でご登録ください。

３．ユーザ新規登録（仮登録から本登録へ）

Ｅメールアドレスとパスワードを登録する。

４．登録情報メニュー

ログインすると変更登録も可能になります。

・配信情報の入力や確認および変更
・メールアドレスの変更
・パスワードの変更
・退会

５．配信情報

①登録地点

メール通知する監視地点の緯度経度と地点名を入力する。

※数値入力、地図から取得、現在地の取得が可能

入力した地点名はメール通知文に表示されます。

登録地点は最大２地点が指定可能です。

②配信基準

メールを配信する基準雨量を選択する。

・10 分間予測雨量 0.2mm(約 1mm/時)「洗濯物干しの取り込みが必要」
・10 分間予測雨量 1mm(6mm/時)「音をたてて降る」
・10 分間予測雨量 5mm(30mm/時)「どしゃ降り」
・10 分間予測雨量 10mm(60mm/時)「滝のように降る」
・10 分間予測雨量 15mm(90mm/時)「恐怖を感じる降り方」

③配信期限

メールを配信する期間を選択する。

・期限なし（全日）
・期限なし（日中 7 時～21 時）
・当日限り（24 時まで）

④メール受信間隔

メールを受信してから一定時間は送信されません。

・1 時間、3 時間、6 時間から選択する。

⑤カテゴリー

ご利用者の職業や利用目的を選択する。

（４）ご利用

①情報配信

利用者が選択した配信基準（予測雨量）を満たす場合に、登録頂いたＥメールアドレスに通知が届きます。

②利用者アンケート

予測精度や情報配信について、アンケートにご協力いただきます。

情報を配信したメールの末尾に書かれている URL から入力してご送信ください。

（５）ＱＲコード

登録用ＱＲコードは、次のとおりです。